

号外！次は4月！この4人です！

第28回 佐世保かっちえて落語会 鯉昇・扇辰・白酒・兼好

私たちの落語会は年3回の公演（春・夏・冬）を恒例にしていますが、コロナ禍のせいで、去年は3回とも中止にし、今年も2回中止にしましたが・・・今回はなんとか、開催することができました。実に2年ぶりぶりぶり大根ではありますが、2年も会わなければ恋人同士でさえ熱は冷め、縁も切れるのが世の常ではありますから・・・「かっちえて落語会のことなんか、もう誰も想ってはいないし、きっと忘れられたにちがいないわ、ヨヨヨヨヨ」と泣き崩れておりましたが・・・客席半分とはいえ、販売前に予約だけでチケットが完売いたしましたので、涙をふいて立ち上がり・・・いま、この会場で、この号外チラシを見ているあなたに、声を大にして、私は言いたい。

「ご来場べらぼーにありがとうございます！」そんな有難いお客様方の期待に応えるべく、次回も、私たちが自信をもってお勧めする師匠方に来ていただきます。なんと4人も！4人の師匠が一堂に会するのは初めてです。

瀧川鯉昇：その飄々とした高座は“脱力系鯉昇ワールド”と称され、現代において、もっとも落語本来の楽しさ面白さを伝えてくれる希少な存在である。登場してから、しばし何も話さない“無言の間（ま）”があり「黙って会場を見渡しているときの表情と雰囲気だけでも笑える」とファンになった人もいるほど、不思議なおかしみのある噺家である。

入船亭扇辰：若い頃から正攻法の演者として期待され、軽い滑稽噺から情感あふれる人情噺まで、持ちネタは幅広い。落語通の誰もが認める実力派であり、柔らかで落ち着いた雰囲気、端正な口調と繊細な表現力は、まさに現代を生きる江戸前の本格派であり、その高座は、いつも清々しくて粋である。

桃月庵白酒：“とうげつあんはくしゅ”と読みます。落語通の間で・・・「いま誰が一番おもしろいか？」といった話題のときには、必ず名前があがり、その愛嬌のある風貌と正統派の語り口とは裏腹に、独創的で現代的なセンスあふれるギャグを織り交ぜながらの古典落語は、絶品である。

三遊亭兼好：28歳で落語家修行を始めたにも関わらず、精進に精進を重ねた努力と、天性の明るさとパワフルな演技力により、いまや人気も実力もうなぎ昇り。白酒同様に、「いまもっとも面白い噺家のひとり」である。所作や表情を見ているだけで嬉しくなるような、サービス精神にあふれた楽しい高座を、ぜひ実感していただきたい。

どうです？こんなにも素晴らしい噺家さんたちが、4人も、この西の端に集まってくれるんですよ。まだまだこれからもコロナ対策は必要だと思いますが、たとえマスク越しでも、笑う門には福来る、笑顔の人には幸来る。次回もあなたと！会場でお会いできることを、べらぼーに願っております。
(文責・海老原靖芳)

2022年4月24日(日) 開演午後4時

佐世保コミュニティーセンター5F

指定席 大人：2,500円・小中高生：1,000円

※ 次回も指定席のみの販売とさせていただきます。

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちえて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぽ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時

-----切り取り線-----

◆ 指定席 大人()枚・子供()枚

〒

ご住所 _____

ご氏名 _____

電話・FAX 番号 _____